

「かごしま子ども未来プラン2015」について

少子化の現状

平成28年5月23日
青少年男女共同参画課

1 出生

(1) 合計特殊出生率と出生数

	全国		鹿児島県	
	平成26年	平成27年	平成26年	平成27年
合計特殊出生率	1.42	1.46 (+0.04)	1.62	1.65 (+0.03)
出生数	1,003,539人	1,005,656人(+2,117人)	14,236人	14,125人(▲111人)

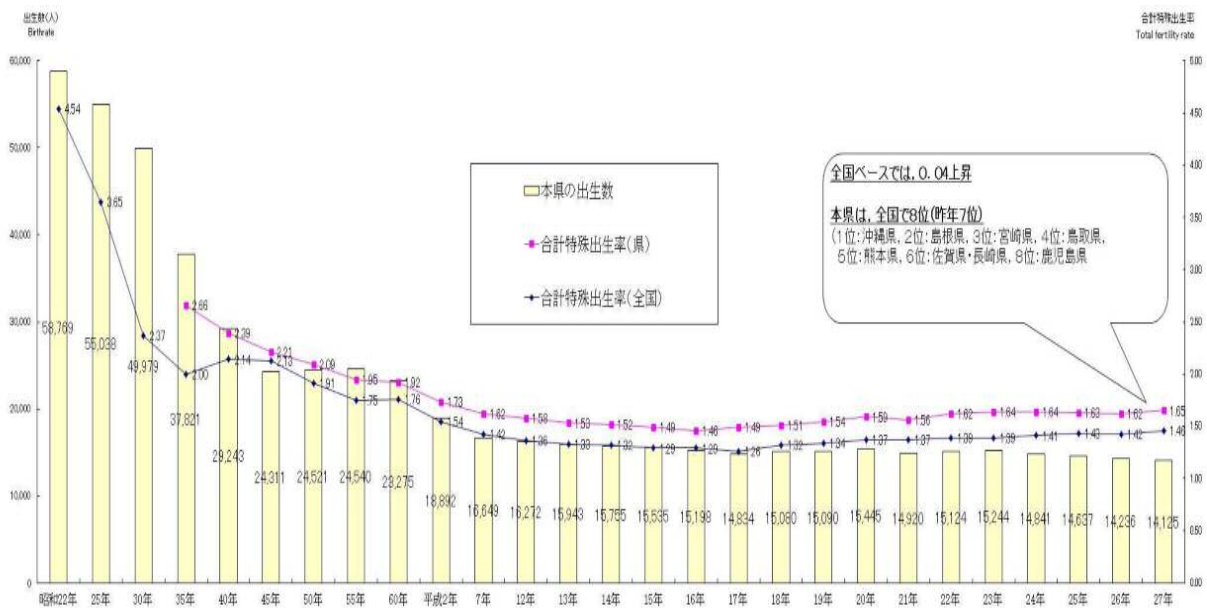
※都道府県別の合計特殊出生率

平成27年 ①沖縄県(1.94) ②島根県(1.80) ③宮崎県(1.72) ④鳥取県(1.69) ⑤熊本県(1.68) ⑥佐賀県、長崎県(1.67) ⑧鹿児島県(1.65)

(平成26年 ①沖縄県(1.86) ②宮崎県(1.69) ③島根県・長崎県(1.66) ⑤熊本県(1.64) ⑥佐賀県(1.63) ⑦鹿児島県(1.62))

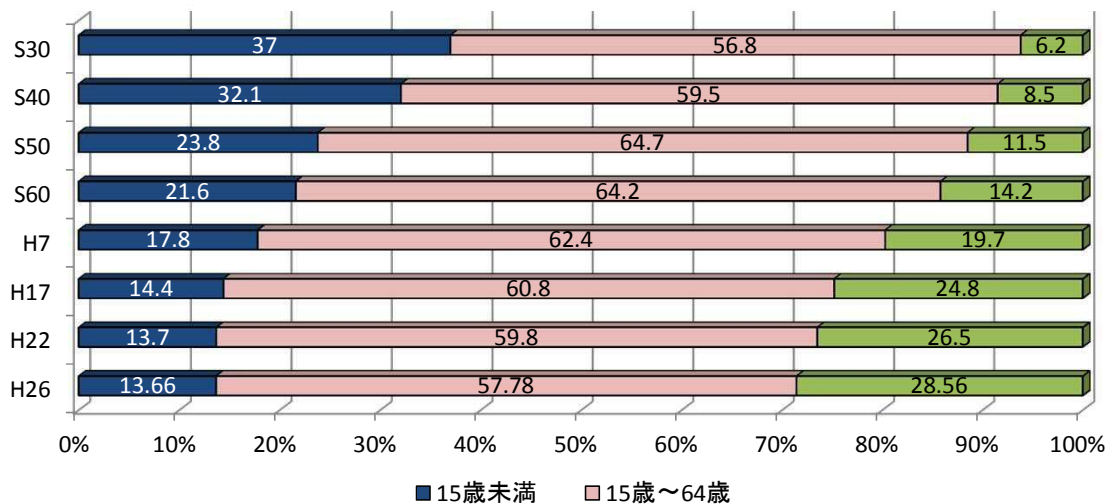
資料：平成27年人口動態統計月報年計(概数)

出生の動向



資料：人口動態統計，国勢調査

(2) 鹿児島県の年齢3区分別人口割合の推移



資料 県統計課「鹿児島県の推計人口」

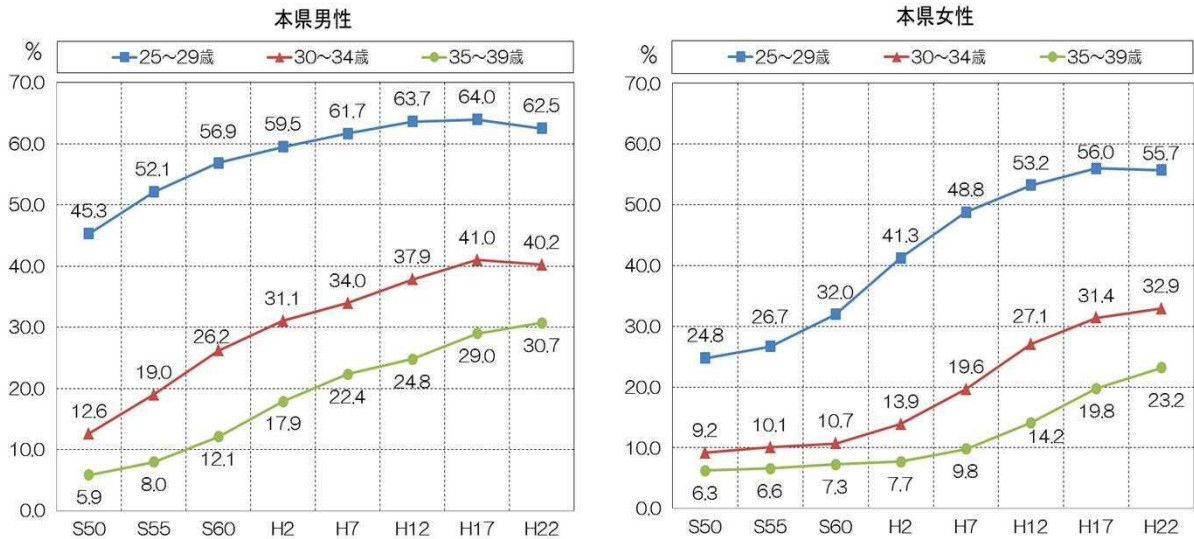
2 未婚化・晩婚化の進行

(1) 平成26年人口動態統計月報年計(概数)

		1980(昭和55)年	2010(平成22)年	2014(平成26)年	2015(平成27)年
全国	婚姻件数	774,702組	700,214組	643,749組	635,096組
	婚姻率(人口千対)	6.7	5.5	5.1	5.1
鹿児島県	婚姻件数	11,539組	8,682組	7,837組	7,724組
	婚姻率(人口千対)	6.5	5.1	4.7	4.7

資料：人口動態統計

(2) 鹿児島県の年齢別未婚率の推移(25歳～39歳)



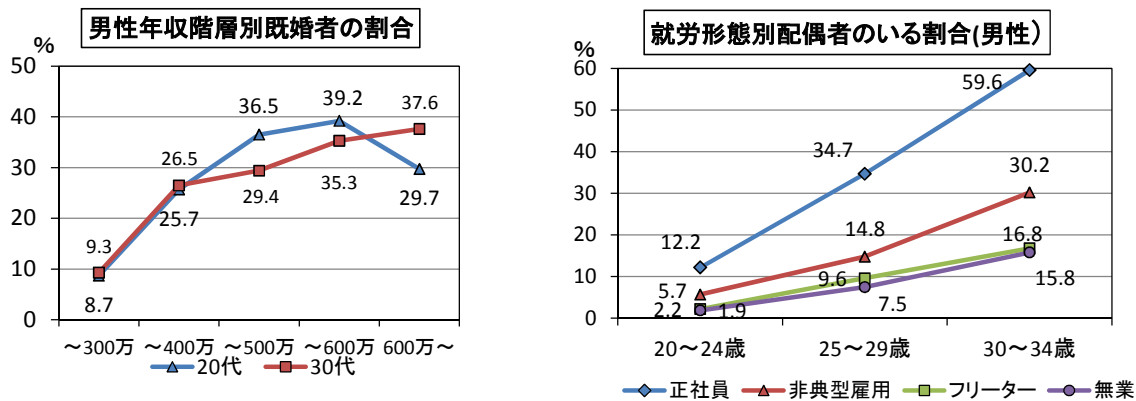
資料：国勢調査

(3) 未婚化・晩婚化・晩産化に関する統計データ

			1980(昭和55)年	2010(平成22)年	2014(平成26)年	2015(平成27)年
生涯未婚率	全国	男性	2.6%	20.1%		
		女性	4.5%	10.6%		
	本県	男性	2.8%	20.4%		
		女性	5.3%	10.6%		
平均初婚年齢	全国	男性	27.8歳	30.5歳	31.1歳	31.1歳
		女性	25.2歳	28.8歳	29.4歳	29.4歳
	本県	男性	27.5歳	29.7歳	30.5歳	30.4歳
		女性	25.2歳	28.2歳	29.0歳	29.0歳
出生児の母の年齢	全国	第1子	26.4歳	29.9歳	30.6歳	30.7歳
		第2子	28.7歳	31.8歳		
		第3子	30.6歳	33.2歳		
	本県	第1子		28.9歳		
		第2子		30.9歳		
		第3子		32.6歳		

(注) 資料：国勢調査、人口動態統計

(4) 年収別、就労形態別既婚者の割合



資料：内閣府「平成22年結婚・家族形成に関する調査」

資料：内閣府「平成24年度子ども・子育て白書」

「かごしま子ども未来プラン2015」の要点

1 プラン策定の背景・考え方

[国における新たな動き]

- 平成26年4月、「次世代育成支援対策法」が、さらに10年間延長(H27.4～H37.3)
- 平成27年3月、今後5年間を少子化対策の集中取組期間と位置付けた「少子化社会対策大綱」が決定

少子化対策に関する県民意識調査

- ・調査時期:平成26年12月
- ・調査対象 18歳以上の一般県民, 大学生
- ・調査結果(抜粋)
結婚願望者 20代:70.2%, 30代:73.6%

[本県における少子化や子育てを巡る現状]

- 未婚化・晩婚化による少子化の進行に歯止めをかけることが必要
- 核家族化の進展, 地域のつながりの希薄化など, 家族や地域の状況に対応した子育て支援が必要

(プランの位置づけ)

国における新たな動きや, 本県における少子化や子育て支援の現状等を十分に踏まえながら, 本県の少子化対策や子育て支援, 母子保健対策等に関する施策を総合的に推進していくための指針として策定
【計画期間:平成27年度から平成31年度までの5年間】

2 プランの基本理念・基本目標

【基本理念】

「結婚, 妊娠・出産, 子ども・子育てに温かい社会をめざして」
～子どもは未来からの預かりもの～

【基本目標】

個々人の結婚, 妊娠・出産, 子育ての希望が, 県内のどこにおいても実現できる社会づくりを推進し, 少子化に歯止めをかけるとともに, 次世代の育成を支援

〈4つの重点目標〉

- ①若い年齢での結婚, 妊娠・出産の希望が叶う鹿児島県の実現を目指す
- ②日本一子育てがしやすい鹿児島県の実現を目指す。特に, 多子世帯に配慮した取組を推進
- ③結婚, 妊娠・出産, 子育てをしやすい働き方を推進
- ④社会全体で行動し, 少子化対策を推進

3 プランの特色(新たな視点)

Point I

結婚, 妊娠・出産, 子育て, 仕事までのライフステージに応じた切れ目のない支援

社会全体で行動し, 少子化対策を推進

車の両輪として

個々人のライフステージに応じ, 各般の支援策を体系化

Point II

- ①基本目標の実現に向け, 新たに4つの重点目標を設定
- ②少子化の大きな要因である「未婚化」, 「晩婚化」対策に注力するため, 重点目標の一つに, 「若い年齢での結婚, 妊娠・出産の希望が叶う鹿児島県の実現を目指す」ことを掲げ, 「総合的な結婚支援の推進」を施策の方向の一つに位置付け

Point III

具体的施策を計画的に推進していくための指標として, 少子化対策に直結する重点数値目標(17項目)を設定

4 プランの構成

別紙体系図のとおり

5 プランの推進

- 今後, プランに基づき, 「結婚, 妊娠・出産, 子ども・子育てに温かい社会」を目指して総合的できめ細かい少子化対策等を推進
- (1)庁内の「少子化対策推進本部」において総合調整を行い, 全庁的にプランを推進
 - (2)外部の「県子ども・子育て支援会議」において意見を伺いながら, プランを推進

かごしま子ども未来プラン2015体系図

